

こんなやり直しはいかがですか？

さあ久しぶりに勉強方法について紹介しますが、その前に一言！

よく「この先生の授業はわかる！」という言葉を書き聞きます。私もそんな先生を日々目指していますが... (^_^;) 私自身、小学・中学・高校・大学、そして教師になってから「この先生すごいなあ！」と感動したことが多々あります。しかし、その先生に習った生徒全員の力が伸びているかというところでもありません。伸びている生徒は、その先生からもらったヒントをもとに繰り返し自主学習をしている人です。

そうです！『本当のわかった』とは、「わかるヒントを生かしているか、ないか」の先にあるのです。通信で紹介する私の学習方法は、効果観面ではないかもしれませんが、試さなければわかりません。まず、今読んでいるあなたから試してみてください！

今日は、やり直しノートについて紹介します！

7 / 10 数学確認問題	
自分の誤解	やり直し
① $(3a - 2b) \times 5$ $= 3a - 10b$	☆分配法則を使う！ $(3a - 2b) \times 5$ $= 15a - 10b$

間違った問題をやり直すとき、正答のみを書くことがあります。しかし、それではどこを間違ったのかをわかってもらえないので、私は間違ったところを分けて、どこで間違っているように書いて、その横にポイントを書き加えました。これにより、間違いが明確になるだけでなく、このノート自体が参考書になります。さっそく、今日の勉強法です！

ちょっとおまけで、もう一つ紹介します。問題を解いた後は見直しが必要不可欠です！その見直しをどうしていますか？

$(3a - 2b) \times 5$ を例にしましょう！

パターン①

$(3a - 2b) \times 5 = \dots$ と最初と同じように解く

パターン②

出した答え $3a - 10b$ を () $\times 5$ の形にする

パターン①は同じ間違いをしてしまうかもしれません。しかし、パターン②でやってみると、 $(\frac{3a}{5} - 2b) \times 5$ となり間違っていることに気づきます。

